

令和6事業年度保健医療情報会計  
情報分析活用勘定

財 産 目 録  
貸 借 対 照 表  
損 益 計 算 書  
キャッシュ・フロー計算書

# 令和6事業年度保健医療情報会計 情報分析活用勘定財産目録

(令和7年3月31日現在)

資 産 の 部			
区 分	内 訳		金 額
	摘 要	金 額	
		千円	千円
<b>流 動 資 産</b>			4,384,516
現金及び預金			1,834,300
	普通預金	1,834,300	
未収入金			2,550,215
	未収医療費適正化 対策推進関連事業費	2,544,781	
	未収保険者等委託費	5,434	
<b>固 定 資 産</b>			526,517
有形固定資産			4,169
建物附属設備			1,862
減価償却累計額			△ 230
工具器具備品			4,096
減価償却累計額			△ 1,559
無形固定資産			150,081
ソフトウェア			150,081
投資その他の資産			372,267
退職給付引当資産			14,066
別途積立資産			358,200
<b>資 産 合 計</b>			<b>4,911,034</b>

負債の部			
区分	内 訳		金額
	摘 要	金額	
		千円	千円
<b>流動負債</b>			2,942,813
未払金			2,769,522
未払消費税等			164,343
賞与引当金			7,225
その他の流動負債			1,723
	未払費用	1,076	
	預り金	646	
<b>固定負債</b>			15,574
退職給付引当金			15,574
	負債合計		2,958,388
	差引正味財産		1,952,646

# 令和6事業年度保健医療情報会計 情報分析活用勘定貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

資 産 の 部				負 債 ・ 資 本 の 部			
区 分	注記 番号	金 額		区 分	注記 番号	金 額	
千円				千円			
<b>(資産の部)</b>				<b>(負債の部)</b>			
<b>I 流動資産</b>				<b>I 流動負債</b>			
1 現金及び預金		1,834,300		1 未払金		2,769,522	
2 未収入金		2,550,215		2 未払消費税等		164,343	
流動資産合計		4,384,516		3 賞与引当金		7,225	
				4 その他の流動負債		1,723	
<b>II 固定資産</b>				<b>流動負債合計</b>			
1 有形固定資産				2,942,813			
(1) 建物付属設備		1,862		<b>II 固定負債</b>			
減価償却累計額		△ 230	1,632	退職給付引当金			
(2) 工具器具備品		4,096		固定負債合計			
減価償却累計額		△ 1,559	2,537	15,574			
有形固定資産合計			4,169	15,574			
2 無形固定資産				<b>負債合計</b>			
ソフトウェア			150,081	2,958,388			
無形資産合計			150,081	<b>(資本の部)</b>			
3 投資その他の資産				<b>利益剰余金</b>			
(1) 退職給付引当資産	※1		14,066	1 任意積立金			
(2) 別途積立資産	※1		358,200	別途積立金			
投資その他の資産合計			372,267	2 当期末処分利益			
固定資産合計			526,517	利益剰余金合計			
				1,952,646			
				<b>資本合計</b>			
				1,952,646			
<b>資産合計</b>		<b>4,911,034</b>		<b>負債・資本合計</b>		<b>4,911,034</b>	

令和6事業年度保健医療情報会計  
情報分析活用勘定損益計算書

(自 令和6年4月1日)  
(至 令和7年3月31日)

区 分	注記 番号	金 額	
		千円	千円
〔経常損益の部〕			
( 業 務 損 益 の 部 )			
I 業 務 収 益			
1	医療費適正化対策 推進関連事業収入	4,178,920	
2	保険者等委託費収入	4,941	
3	補助金収入	120,000	4,303,861
II 業 務 費 用			
1	給 与 手 当	66,256	
2	賞 与	13,752	
3	賞与引当金繰入額	7,225	
4	退職給付費用	6,176	
5	法定福利費	12,939	
6	保 守 料	1,273,733	
7	委 託 費	331,457	
8	修 繕 費	1,231,486	
9	補助金事業経費	109,090	
10	その他の業務費用	53,092	3,105,210
	業 務 利 益		1,198,650
( 業 務 外 損 益 の 部 )			
業 務 外 収 益			
	受 取 利 息	168	168
	経 常 利 益		1,198,819
	当 期 純 利 益		1,198,819
	当 期 未 処 分 利 益		1,198,819

令和6事業年度保健医療情報会計  
情報分析活用勘定キャッシュ・フロー計算書

(自 令和6年4月1日)  
(至 令和7年3月31日)

区 分	注記 番号	金 額
		千円
<b>I 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
医療費適正化対策推進関連事業収入		2,693,167
保険者等委託費収入		5,658
補助金収入		120,000
人件費の支出		△ 100,230
その他の業務支出		△ 1,201,977
小 計		1,516,617
利息の受取額		168
業務活動によるキャッシュ・フロー		1,516,786
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
無形固定資産の取得による支出		△ 357,751
積立資産取崩収入		43,958
積立資産積立支出		△ 416,225
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 730,018
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
財務活動によるキャッシュ・フロー		—
<b>IV 現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		—
<b>V 現金及び現金同等物の増減額</b>		786,767
<b>VI 現金及び現金同等物の期首残高</b>		1,047,533
<b>VII 現金及び現金同等物の期末残高</b>	※1	1,834,300

# 令和6事業年度保健医療情報会計 情報分析活用勘定利益処分計算書

(令和7年6月23日)

区 分	金 額
I 当期未処分利益	1,198,819,097
II 利益処分額 任意積立金 別途積立金	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span style="border-bottom: 1px solid black;">1,198,819,097</span> <span style="border-bottom: 1px solid black;">1,198,819,097</span> </div>
III 次期繰越利益	<div style="border-bottom: 3px double black;">0</div>

## 重要な会計方針

期 別	当会計期間				
項 目	（ 自 令和6年4月 1日 ） （ 至 令和7年3月31日 ）				
1. 固定資産の減価償却の方法					
(1) 有形固定資産	<p>定額法によっております。</p> <p>なお、主な耐用年数は、以下のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 80%;">建物付属設備</td> <td style="text-align: right;">15年</td> </tr> <tr> <td>工具器具備品</td> <td style="text-align: right;">4～6年</td> </tr> </table>	建物付属設備	15年	工具器具備品	4～6年
建物付属設備	15年				
工具器具備品	4～6年				
(2) 無形固定資産	<p>定額法によっております。</p> <p>なお、ソフトウェア（基金利用分）については、支払基金における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。</p>				
2. 引当金の計上基準					
(1) 賞与引当金	<p>職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき当期に見合う分を計上しております。</p>				
(2) 退職給付引当金	<p>職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。</p> <p>ア 退職給付見込額の期間帰属方法</p> <p>退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当期末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。</p> <p>イ 過去勤務費用及び数理計算上の差異の費用処理方法</p> <p>過去勤務費用については、職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（11年）による定額法により按分した額を、発生時から費用処理しております。</p> <p>数理計算上の差異については、職員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（11年）による定額法により按分した額を、それぞれ発生の翌期から費用処理しております。</p>				

<div style="text-align: right;">期 別</div> <div style="text-align: left;">項 目</div>	<div style="text-align: center;">当会計期間</div> <div style="text-align: center;">（ 自 令和6年4月 1日 ） （ 至 令和7年3月31日 ）</div>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日）等を適用し、約束したサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該サービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。</p> <p>①医療費適正化対策推進関連事業収入</p> <p>医療費適正化対策推進関連事業収入は匿名医療保険等関連情報に係る関係業務、データヘルス分析関連サービスの拡充のための調査に関する業務及び健康スコアリングレポート作成業務の対価であり、当基金は厚生労働省との契約に基づいて匿名医療保険等関連情報に係る関係業務、データヘルス分析関連サービスの拡充のための調査に関する業務及び健康スコアリングレポート作成業務を行う履行義務を負っております。</p> <p>医療費適正化対策推進関連事業収入は、匿名医療保険等関連情報に係る関係業務一式、データヘルス分析関連サービスの拡充のための調査一式及び健康スコアリングレポート作成業務については作成業務一式の納品が完了した一時点において履行義務が充足されると判断し、当該時点で収益を認識しています。</p> <p>②保険者等委託費収入</p> <p>保険者等委託費収入はデータヘルス・ポータルサイトの改修業務及び管理運営業務の対価であり、当基金は共済組合との契約に基づいてデータヘルス・ポータルサイトの改修業務及び管理運営業務を行う履行義務を負っております。</p> <p>保険者等委託費収入は、データヘルス・ポータルサイトの改修業務については成果物の納品が完了した一時点において履行義務が充足されると判断し、管理運営業務については契約期間にわたって履行義務が充足されると判断し、当該時点で収益を認識しています。</p>

<div style="text-align: right;">期 別</div> <div style="text-align: left;">項 目</div>	<div style="text-align: center;">当会計期間</div> <div style="text-align: center;">（自 令和6年4月 1日） （至 令和7年3月31日）</div>
4. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲  5. その他財務諸表作成のための重要な事項 消費税等の会計処理	<p>手許現金、要求払額及び取得日から3か月以内に満期日の到来する流動性の高い、容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期的な投資からなっております。</p> <p>消費税等の会計処理は税抜方式によっております。</p>

## 表示方法の変更

(貸借対照表関係)

当会計期間末 (令和7年3月31日現在)	
※1	積立預金の表示方法は、従来、貸借対照表上、現金及び預金（前事業年度1,047,533千円）に含めて表示しておりましたが、事業の円滑な運営及び将来における特定の目的の支出に備えるといった目的を有し、他の預金とは異なる管理を行っている積立預金の状況を明瞭に表示するため、当事業年度より投資その他の資産（当事業年度372,267千円）として各積立預金の名称を付した科目で表示しております。

## 注記事項

(キャッシュ・フロー計算書関係)

当会計期間末 (令和7年3月31日現在)	
※1	現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲載されている科目の金額との関係
	現金及び預金 <u>1,834,300</u> 千円
	現金及び現金同等物 1,834,300

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当支払基金は、職員の退職給付に充てるため、積立型、非積立型の確定給付型制度を採用しております。

企業年金基金制度（積立型制度であります。）では、給与と加入期間に基づいた年金又は一時金を支給します。

退職一時金制度（非積立型制度であります。）では、退職給付として、給与と勤務期間に基づいた一時金を支給します。

2. 退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

期首における退職給付債務	△ 15,838	千円
勤務費用	△ 6,836	
利息費用	△ 79	
数理計算上の差異の当期発生額	△ 3,533	
退職給付の支払額	3,418	
期末における退職給付債務	△ 22,868	

3. 年金資産の期首残高と期末残高の調整表

期首における年金資産	6,754	千円
期待運用収益	189	
事業主からの拠出額	986	
数理計算上の差異の当期発生額	7,014	
退職給付の支払額	△ 3,418	
期末における年金資産	11,525	

4. 退職給付債務及び年金資産と貸借対照表に計上された退職給付に係る負債及び資産の調整表

イ. 積立型制度の退職給付債務	△ 8,717	千円
ロ. 年金資産	11,525	
ハ. 非積立型制度の退職給付債務	△ 14,151	
ニ. 未積立退職給付債務（イ＋ロ＋ハ）	△ 11,343	
ホ. 未認識過去勤務費用	—	
ヘ. 未認識数理計算上の差異	△ 4,230	
ト. 貸借対照表計上純額（ニ＋ホ＋ヘ）	△ 15,574	
チ. 前払年金費用	—	
リ. 退職給付引当金（トーチ）	△ 15,574	

5. 退職給付に関連する損益

勤務費用	6,354	千円
利息費用	79	
期待運用収益	△ 189	
過去勤務費用の当期の費用処理額	—	
数理計算上の差異の当期の費用処理額	△ 68	
退職給付費用	6,176	

(注) 企業年金基金に対する職員拠出額を控除しております。

6. 年金資産の主な内訳

債 券	56.8%
株 式	31.9%
その他	11.3%
合 計	100.0%

7. 長期期待運用収益率の設定方法に関する記載

年金資産の長期期待運用収益率を決定するため、現在及び予想される年金資産の配分と、年金資産を構成する多様な資産からの現在及び将来期待される長期の収益率を考慮しております。

8. 数理計算上の計算基礎に関する事項

期末における主要な数理計算上の計算基礎	
割引率	1.99%
長期期待運用収益率	2.8%